

# 若 麦



草津市青少年育成市民会議  
シンボルマーク

## No.85

2023.3.1

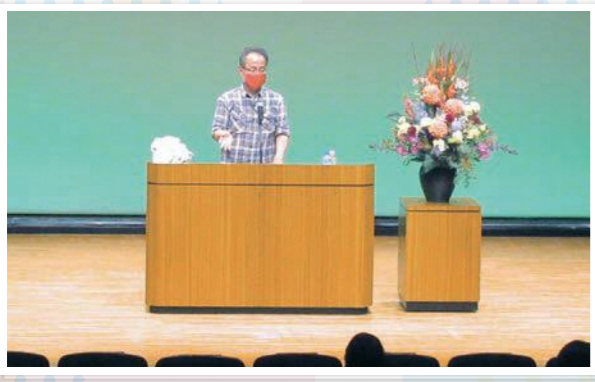
編集・発行  
草津市青少年育成市民会議  
(事務局)  
草津市草津三丁目13番30号  
TEL. 077-561-6899  
FAX. 077-561-6780

目 次	
● 1～3ページ	草津市青少年育成大会
● 3ページ	青少年問題をみんなでトーク
● 4ページ	賛助会員紹介 県表彰・市政功労者表彰ほか



▲ 加藤 公士さん ▲ 岩井 優果さん ▲ 細田 晟希さん

## ★草津市青少年育成大会★



▲ 講演の様子

11月27日(日)草津アミカホールで「草津市青少年育成大会」を開催しました。

当日は、青少年活動に熱心に取り組んでこられた方々と、挨拶(あいさつ)運動啓発作品入賞者の表彰を行いました。その後、mottoひようご事務局長の栗木 剛様より、「コロナ禍でも地域で楽しく子育てを」というテーマで御講演をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、来場者の皆様には、検温や手指消毒、参加票の記入などの御協力をいただきました。皆様の御協力のもと、無事挙行することができましたことを御礼申し上げます。



▲ 挨拶(あいさつ)運動啓発作品入賞者



▲ 市民会議顕彰受賞者  
青少年の部・青少年育成指導者の部  
左から 久志 哲大さん 宮城 詠子さん 日比 由美さん

令和4年度 挨拶(あいさつ)運動啓発作品入賞作品

～挨拶で 笑顔あふれる 草津市へ～

賛助会員の皆さま  
ご協力ありがとうございました。

### 令和4年度 賛助会員名簿

(順不同・敬称略)令和5年2月末現在

#### ★企業・団体の部

- 綾羽株式会社
- イオンモール株式会社イオンモール草津
- 一般社団法人草津東医師会
- 一般社団法人びびり薬剤師会
- オムロン株式会社草津事業所
- 株式会社鈴木測量設計事務所
- 草津市教育会
- 草津市校長会
- 草津市立こども園園長会
- 草津電機株式会社
- 草津保護区草津支部保護司会
- 草津モロロジ事務所
- 草津ライオンズクラブ
- 草津・東東金融協議会
- 草津ロータリークラブ
- ダイキン工業株式会社滋賀製作所
- 中村司法書士事務所

#### ★個人の部

- 青木 和子
- 田中 定一
- 中村 陽子
- 湯浅 敦
- 伊藤 定雄
- 津田 正慎
- 松村 晴美

### 祝 令和4年度 県表彰

11月12日(土)彦根市みずほ文化センターで開催された令和4年度滋賀県青少年育成県民大会において表彰されました。

#### ● 滋賀県青少年等知事表彰 青少年健全育成成功労者の部

奥井 さよ子さん  
(草津市青少年育成市民会議 副会長  
玉川学区)



青少年の育成・指導、体験を通じた青少年の健全育成への貢献

#### ● 滋賀県青少年育成県民会議顕彰 青少年指導者の部

我孫子 博さん  
(草津市青少年育成市民会議 会長  
志津学区)



地区民会議事務局長、市民会議会長として青少年の育成・指導に貢献

#### ● 「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」 (家族ふれあいサンデー推進運動)に 関する作文入賞者

小学校高学年(5・6年生)の部



優秀賞  
須津 和奏さん  
(天倉小学校6年)

### 祝 令和4年度 市政功労者表彰

草津市では、行政や経済、文化、社会などの分野で功績のあった人を市政功労者として表彰しており、11月3日(木・祝)に草津アミカホールで表彰式が行われました。

#### ● 社会功労 青少年の健全育成に尽力



中村 年夫さん  
(草津市青少年育成市民会議 副会長  
常盤学区)



山崎 昌則さん  
(草津市青少年育成市民会議 運営委員  
笠縫東学区)

当市民会議からは、副会長と運営委員の計2名が、青少年の健全育成に尽力された功績を認められ、表彰を受けました。

#### 草津市からのお知らせ

#### 草津市子ども・若者総合相談窓口

さまざまな悩みを抱える子どもや若者、その家族をサポートするための窓口を10月から開設しています。「学校や社会になじめない」「将来に不安を感じている」など、どこに相談したらいいのか分からない悩みを抱えていませんか。相談員と一緒に考えます。

相談無料  
秘密厳守

〈対象者〉  
草津市にお住まいの子ども・若者  
(おおむね39歳まで)とその家族

〈場所〉  
草津市役所横 さわやか保健センター2階  
子ども家庭・若者課内

〈開所日〉  
月曜日から金曜日の8:30～17:15  
(祝日、年末年始を除く)

〈連絡先〉  
電話 077-561-0188  
FAX 077-561-6780  
メール kodomo@city.kusatsu.lg.jp



総合相談窓口  
ホームページ

#### 編集後記

今年度のコロナ禍では、イベントや行事が増えてきて、世の中が新たな時代に向かって進んでいる感じがします。若麦の編集では、編集員として議論を重ねながら、無事に第85号を発行できた事を変に嬉しく思います。(広報部一同)

講演

# コロナ禍でも地域で楽しく子育てを

mottoひょうご事務局長 栗木 剛 様

「コロナ禍で今までの当たり前が当たり前でなくなっている。大人は、コロナが始まる前はよかったという、子どもや孫を「可哀そう」という目で見ていた。初めて運動会に参加した子どもたちの感動と一緒に楽しんでどうか。子どもたちは、タブレットによるリモート授業や授業の同時配信を受け入れ、時代を先取りし、これがスタンダードになっている。大人が変われば子どもも変わる」というが、大人はあたまが固く、大人が一番変わらな。スマートフォン一つとっても青少年の方がよく知っている。大人の方から青少年に使い方を教えてもらうなど



子どもに歩み寄り、大人の視点を変えることで自然と青少年育成が広がっていく」と訴えられました。

来場された方の感想には、「心豊かな気分にならせていただきました。」「子どもたちの中で流行っていること、楽しみ、もっと興味をもって関わりたいと思います。」「こんなに楽しんで心に響く講演会は初めてでした。」「など笑いあり涙ありの講演会でした。」

## 令和4年度 草津市青少年育成 市民会議顕彰

### 青少年育成指導者の部

学区での活動を通じて、青少年の育成指導活動に尽力されました。

氏名	団体
宮城 詠子さん	青少年育成志津地区民会議
日比 由美さん	草津学区青少年育成区民会議
加藤 公士さん	玉川学区青少年育成区民会議

### 青少年の部

団体での活動を通じて、青少年の健全育成に尽力されました。

岩井 優果さん	草津市BBS会
久志 哲大さん	草津市BBS会
細田 晟希さん	草津市BBS会

## 12月18日開催 青少年問題をみんなでトーク

青少年の課題や問題点などの現状を知り、それぞれの立場での取組や情報を共有することで、関係者相互の理解を深め、青少年健全育成の発展につなげようと、一般参加の方を含め、青少年育成市民会議、学・地区民会議関係者のほかPTAや教職員、各種団体などから46人の参加がありました。

例年は、日頃感じていること・悩んでいることなどの意見を出し合っで交流いただくグループディスカッションを行ってありますが、今年度も感染症対策のため、講演のみという形での開催となりました。

講演は、法務省大津保護観察所 統括保護観察官 濱田 洋介様に、「保護観察所から見た少年たちの今」と題して御講演いただきました。再犯を防止するため保護観察官と、立ち直りを地域で支える保護司、BBS会、更生保護女性会など

の活動について、また、少年の再非行について地域社会における理解、見守っていくことの大切さについてお話をいただきました。

アンケートでは、「少年非行の現状とボランティアを含め更生保護を支える方々がよくわかりました。」「保護観察官からの生の声を聞くことができ、とても有意義でした。明日からの教育活動にいかしていきたいと考えています。」「という意見があり、子どもたちへの関わり方について理解を深めることができました。」



## 挨拶(あいさつ)運動啓発作品

市民の皆さんから9,518点の応募をいただきました。大賞などの優秀作品を紹介します。



**特選**

鳥毛 ひよりさん  
(草津第一小学校2年)

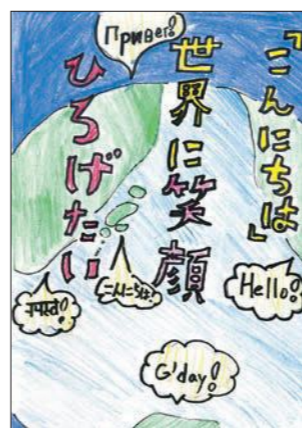
みんなが、元気で大きいこえを出して、あいさつをしてほしい。



**大賞**

松原 小桜さん  
(南笠東小学校5年)

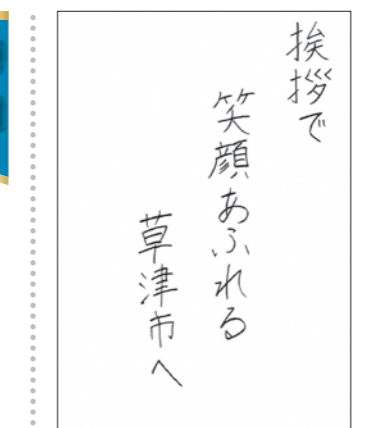
あいさつをすると、みんながえがおになるから、いっぱいあいさつをしてもらいたいです。



**特選**

石津 咲和さん  
(志津南小学校6年)

ちゃんと、あいさつをしてほしいという思いをこめて書きました。



**特選**

北脇 理那さん  
(草津第一小学校5年)

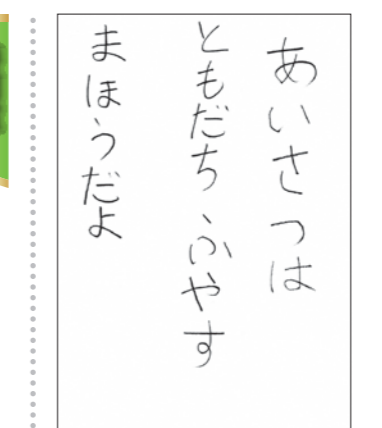
みんなが挨拶をして、草津市が笑顔であふれたらいいなと思っかけてきました。



**特別賞**

山川 愛莉さん  
(高穂中学校3年)

コロナ禍であり、マスクが必須となる今、声を出してもこもってしまいます。ですが、マスクをして声がかももっていたとしてもあいさつで心と心が通いあえばいいなという思いをこめました。



**特別賞**

堀本 有希さん  
(草津第二小学校2年)

いろんな人と話したりしてみたかったからです。



**会長賞**

桑原 すみれさん  
(老上小学校2年)

みんな大きなこえで、えがおであいさつをしてほしいからこの作品をつくりました。



**特別賞**

草川 悠衣さん  
(老上中学校3年)

会話は大抵あいさつから始まるって、な、と感じたのがきっかけで生まれた作品です。コロナ禍の中でも、楽しい会話や元気なあいさつはずっと続いてほしいと思います。